

若者と政治を

どのようにつながるのか

18歳の投票率を押し上げた!「主権者教育」

選挙権年齢が18歳に引き下げられた最初の国政選挙が、7月10日に行われました。東京都選管の抽出調査によると18歳は60.53%、19歳は41.44%で、いずれも全国平均を大きく上回りました。

18歳と19歳の投票率の差は、18歳は高校の授業で「主権者教育」を受けており、学校のみならず家族やメディアからも投票を促す声が多かった一方で、19歳は「主権者教育」を受けていないためではないかと推測されます。

政治をもっとオープンに語ろう

昨年の公職選挙法の改正に伴い、高校生向けの政治教育の副教材として「私たちが拓く日本の未来」が作成されました。私も高校



も達には投票する姿を見せてください。政治に期待していないとか、誰がなっても同じだからといった投票をしなければ、それは今の状況に満足している、もしくは有力候補に投票することと同じだということをお大人が理解しなくてはなりません。

来年の2月には、私たちの暮らしに直結する西東京市長選挙があります。若い人に、一人ひとりが現在から未来にかけての暮らしや地域のあり方を自分の頭で考え、投票することの大切さを伝えて参ります。

(後藤ゆう子)



新町福祉会館のトレーニングマシン 情報は市民に届かなければ 意味がない!

新町福祉会館の高齢者向けトレーニングマシンが一般開放されたのは5月2日。ところが7月中旬を過ぎて、利用者が定員の半数にしか届かない状況が続いています。近隣地域の住民にすら、マシン導入の情報が十分に届いていないのです。

市はあえてトレーニングマシンを導入したのです。あらゆる手段を使って、もっと積極的に活用を呼びかけない! 市の広報活動にはメッセージが弱いと感じます。なぜマシンを導入したのか、どんな方に使ってほしいのかを、様々な機会を活用してしっかりとPRすべきです。

(かとう涼子)

議会トピックス

中学校給食の牛乳アレルギー対応始まる

生活者ネットが要望していた中学校の牛乳給食のアレルギー対応が、本年度2学期より開始される。これまでは一括注文され、飲まれないものは廃棄されていた。今後は医師の診断書があれば注文されず、飲まなかった代金も返還されることになる。

生活者ネットの提案、賛成多数で採択

原発事故避難者の住宅支援の継続を国に対して求める意見書が、自公以外の全議員の賛成多数で採択された。



映画「不思議なクニの憲法」の松井久子監督(左)と

地域からのお知らせ

今年もやります!

認知症SOSネットワーク模擬訓練2016

認知症の方を地域で支えるために、適切な声かけや対応の手法を学んだ後、グループに分かれ行方不明者の捜索訓練を行います。

【日時】9月25日(日) 10時~12時30分(雨天決行)

【場所】住吉小学校体育館

問い合わせ先: 泉町地域包括支援センター TEL: 042(424)1200

困難を抱える若者を支える「場」をつくる 保谷駅前公民館の連続講座 に参加しました

不登校やひきこもりなど、生きづらさを抱える若者を支えるために、家族や地域に何ができるかを考える公民館連続講座に参加しました。不登校からフリースクールを選択した当事者、親の会を運営されている方、傾聴や場づくりの専門家らの話を伺い、まずは子どもと親を孤立させないこと、安心して話せて、否定せず受け入れてもらえる場の必要性を認識しました。

いま私は友人たちと、不登校児の親が語り合える場づくりを進めています。学校に行けなくなっってしまった子どもは、日々、不安や罪悪感に苛まれており、親もそんなわが子を受け止めきれないまま、自らを責め、もがく日々です。暗いトンネルを歩いているとき、そっと握り合える温かい手になれば——そんな思いを新たに、支え合いの場を少しずつ広げていきたいと思っています。



映画「みんなの学校」の木村泰子元校長先生(左)と

が、今回の連続講座も講座から生まれた自主グループが企画・運営したもので、改めて西東京市の公民館活動が地域に根付いていることが実感できました。

(かとう涼子)

生活者ネットワーク 3つのルール

選挙はカンパとボランティアで行います。

議員は最長3期でローテーション。議員を職業化せず、誰もが議員になることで特権化しません。

議員報酬は市民の活動資金として使い、お金の流れは公開します。

